

第2回男女共同参画セミナーを開催しました！

講演 「性暴力と生きることのリアル～私と大切なだれかのために学ぶ～」

講師：山本潤さん（看護師・保健師、一般社団法人Spring代表理事）

13歳から20歳まで実父からの性暴力を受け、その経験から様々なトラウマ症状に苦しみ、性暴力根絶に真摯に取り組まれている山本潤さんを講師にお招きしお話しいただきました。

■ 性暴力とは身近な出来事

- ・日本女性の14人に1人が異性から無理やりに性交された経験
- ・加害者は、現・元パートナー、交際中からの被害が43%（女性の場合）
- ・職場や学校などの生活している中での被害が20.7%（女性の場合）

■ 性暴力をなくすために私たちができること

私ができるサポート対応をする

【性被害者に言ってはいけないタブー語】

- ・まさか！信じられない！
- ・どうしてあの人がそんなことしたの？
- ・もう忘れなよ
- ・あなたの気持ちはわかるよ
- ・かわいそうに

【性被害を受けた人に伝えたいこと】

- ・あなたの話信じるよ
- ・あなたのせいじゃないよ
- ・あなたは一人じゃない

■ 性暴力はトラウマになりやすい

- ・トラウマを引き起こすほどの恐怖は日常的なレベルの「怖い」とは違う
- ・レイプ被害経験者のPTSD発症率は女性45.9%、男性65%。精神的後遺症が残る。

■ 性暴力加害とは

性暴力は、性的欲求によるものというよりは、加害者が攻撃、支配、優越、男性性の誇示、接触、依存などの様々な欲求を性という手段、行動を通じて自己中心的に充足させるために被害者をモノとして扱うこと。

【講師：山本潤さん】

性暴力をなくすために刑法性犯罪改正をめざし活動しています。ひとりひとりの声が力になります！



【セミナーの感想】

実際に被害にあわれた山本さんのお話しは、私の想像を超え内容の重さに胸をしめつけられた。“性暴力”それは殴ったり蹴ったり罵声を発したりいった激しい身体的暴力とは違って、密室的で内面をザクザクと切り裂かれるような言葉では言い表せない苦痛。被害にあっても告白することができない人が多くいるという現実。この講演を聴いて私たちができることは、被害が起きないような環境を整えていくことだと感じた。被害者をあたたかく力強く支えることができる社会、被害者も加害者もつくらない社会をつくるための行動を一步一步積み重ねていきたい。

【古賀市男女共同参画輝きKogaネット中野恵里子】

【参加者感想】※一部抜粋

男性側の意識改革が遅れている。それが改善されないと性犯罪は減らない。

男女共に被害にあっている人が、想像しているよりも多く驚いた。

具体的な話でとても心にしみました。